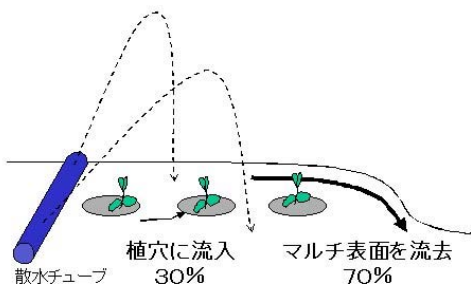




マルチ内点滴灌水による節水とトルコギキョウの高品質化

中山間地域におけるトルコギキョウの8・9月どり栽培は冷涼な気象資源を生かせる有利な作型ですが、早期に開花しやすいため切り花長、切り花重、花蕾数が不足しがちです。

そこで、灌水をマルチ内の点滴灌水にする試験を行った結果、トルコギキョウを高品質化でき、その上、乏しい水資源の節約や省力化もできることがわかりました。

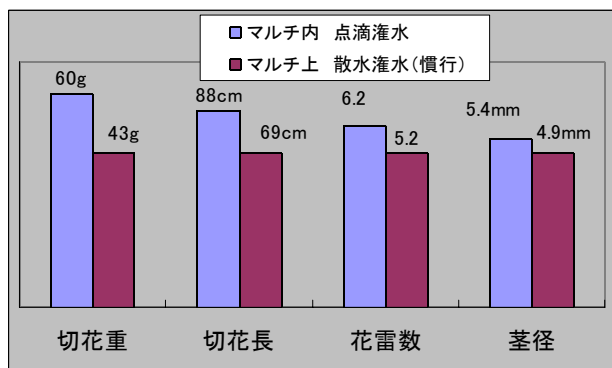
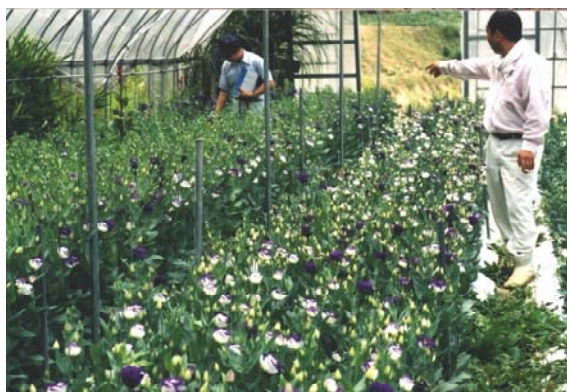


従来の灌水(マルチ上散水)での水の動き



灌水タイマーとマルチ内点滴灌水

マルチ内点滴灌水の方法：軟質点滴チューブ(吐水孔間隔 10cm)を白色マルチ下に2条あたり1本敷設し、貯水タンクからの落差で水圧を確保し、市販の簡易な灌水時間制御装置により毎日、1株あたり約60mlを定量灌水しました。



試験結果

マルチ内点滴灌水は頂花の花芽分化が抑制され、節数が1節多く確保できました。また、収穫日は5日遅く、早期開花を抑制しました。切り花品質はマルチ内点滴灌水が優れ、切り花重、切り花長、花蕾数、茎径は慣行よりもかなり大きくなりました。また、栽培期間中の総灌水量はマルチ内点滴灌水が少なく、マルチ上散水灌水の70%程度で済みました。

灌水方法	頂化節数	収穫日
マルチ内点滴	11.1	9月18日
マルチ上散水	10.2	9月13日

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所 花き園芸担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>